

「主に告白しよう」 ～あなたはなぜ影響を受ける？～

詩篇 32:1～11

人間は「あれがすごいよ」と言われればそれに興味をもち、また「あっちの方がすごいよ」と言われればそちらへ流される、空港に「芸能人が来る」と聞けば何時間でも待って見ようとするなど、情報に影響を受けます。また、人が会話をしている内容が気になる…とくに、自分が人に評価されることには、とても影響を受けます。なぜ影響を受けるのかということ、日頃自分が心配していることを目の当たりにして「やっぱりな」と思うからです。何か自分にとってマイナスなことが起こると「やっぱりな！…私はこうなんだ」「これから先もこうなんだ」と思いこんでしまって、将来を見ようとせずその日暮らしをしようとするのです。私たちは、このように人の言うこと・情報におどらされて不安でいっぱいになっていませんか？聖書の中には、不要な情報は切り捨てて自分の不安を取り除いてこのような状況乗り越えた人物がいます。(詩篇32:1～11)ダビデが大きな罪を犯してしまって後神さまに捧げた賛美です。ダビデは自分の欲のために忠実なしもべを殺してしまいました。そしてその罪を預言者に指摘された時、悔い改めの祈りを捧げた時に神さまにこの賛美を捧げました。ダビデなど旧約時代の人がなぜこのように苦しい時乗り越えられたかということ「わたしは、あなたがたに悟りを与え、行くべき道を教えよう。わたしはあなたがたに目を留めて、助言を与えよう」(8節)があったからです。現代に生きる私たちも、聖書を読むことや礼拝などから「神さまからの悟りと助言」を聞いています。それなのに、せっかく聞いた悟りと助言をすっかり忘れて右往左往して悟りのない馬や驃馬(実を結べない、子孫の残せない愚かな生き物だと考えられていた)(9節)のようになってしまうのです。ダビデは神さまに、「自分の悪かったこと」「悲しかったこと」「不安なこと」などを1人で悩まないで、神さまを信じて、神さまに全て告白して神さまから悟りと助言をいただきました。これを実行したのでダビデの人生は変えられました。私たちはどうでしょう？まだ起きてもない先のことを「〇〇だったらどうしよう」と不安に思い(知らず知らずのうちにそのように進んでしまって)結果、想像したマイナスな状況に陥って前述した「やっぱりな！」の状況に陥るのです。私たちは他人から「〇〇なのよ」とマイナスな状況を相談された時「そんなこと無いよ！」をプラスな答えや励ましのリアクションをします。では、自分にはどうでしょう？自分にはどのようにリアクションをとって、どう答えていますか？自分で自分を「〇〇なんだ」とマイナスの状況に陥らせた時に励ましていますか？どうリアクションをとっていますか？「笑顔でいよう、頑張ろう」と前向きに考えていますか？それとも「どうせダメなんだ。自分はダメ人間だ」と言い聞かせていく悪い人間ですか？このような悪い囁きは一般的には悪魔のすることですよ。ここが大事なところで影響を受けるか受けないかが決まってきます。私たちは自分の内側から出てくる思いを自分でどこに持って行っているのでしょうか。私たちは自分の使い方も分かっていないのに、そんな自分の中で内側から出てきた思いを解決しても正しい答えが出てくるはずがありません。子どもがフェラーリを運転して事故を起こすのと同じです。ですからダビデは正しい判断の出来る神さまを信じて全てを告白し、神さまの言われる答えを聞いていたので正しい考えができました。(8～11節)私たちは感情に流されて影響を受けて生きる本来神さまが良しとしてつくられた自分たちが無くなって実を結べない驃馬のようになってしまつてここで伝えられています。だから、くだらない悩みや悲しみは全部神さまに告白してゆだねて喜び楽しみなさいと神さまは言われています(11節)。だから①主に苦しみを告白しましょう。(詩篇31:9～16)ダビデは信じていた人に命をねらわれたり裏切られたりした私たち以上に苦しんだ人です。このダビデがこの様に神さまに賛美を捧げているのです。「苦しみを神さまに伝える」ことは、苦しみを喜びに変えるのに一番単純で簡単な方法です。詩篇はダビデが苦しい時に神さまに向けて歌ったものです。しかし、神さまにすべて告白したあとにダビデは必ず回復しています。ダビデの名前の意味は「神に愛された者」です。なぜ神さまに愛されたかということ、悲しかったこと辛かったことなどを神さまに全部告白してコミュニケーションをとったからです。だから1人で悩んで悲しみにくれている間にはだまされたと思って神さまに苦しみを全て告白して最後に「あなたならどうしろと言われますか」と聞いてください。必ず自分では答えることの出来ないアドバイスが必ずかえってきます。そして②罪を告白しましょう。人の評価が気になる理由は、自分の中に罪があるからです。「本当はやっちゃいけないことなんだろうな」と分かっているのにやってしまった、後ろめたい気持ちがあると人の話していることが気になります。悪いことが何もなければ後ろめたい気持ちもないので、何を話されても気になりませんし、自分を守るために言い訳・逆ギレしてしまうことありません。ですから、そうなる前に先に神さまに罪を告白して素直に「ごめんなさい」をしましょう。たとえ自分の嫌いな人・苦手な人が私たちに指摘してこようが、悪魔が私たちに私たちの罪ついて耳元で囁こうが、これをしていけば平気です。なぜならば神さまに赦されているからです。神さまに赦されていないから自分に指摘してきた相手に言い訳・逆ギレなどをしてしまいもっと関係が悪化してしまうのです。「ごめんなさい」を言う理由は神さまの罰を逃れるためではありません。私たちの内側が指摘されて弱らないため・気力を失わないためです。悪魔は告発者という意味です。私たちにいつも色々なことを告発してきて弱らせようとします。先にごめんなさいをして神さまに赦されていけば告発される罪は何もありません。(箴言28:9～13)神さまに赦されて、平安を得て、たとえ何を言われようとも笑顔でリアクションをとり、神さまに喜ばれる生活を送りましょう。最後に③信仰と希望の告白をしましょう。(ヘブル10:23～25)これが教会の理由です。みんなで一緒に神さまの前に出て、互いに進め合って愛と全校を促すように注意し合いましょ。そして前向きな希望と信仰の告白をしていきましょう。私たちは最近どうでしょう？「将来は〇〇になるんだ！」と前向きな告白をしていますか？それとも「どうせ〇〇なんだ…」と希望のない告白をしてしまっていますか？信仰は望んでいる事からを保証し、目に見えないものを確信させるものです(ヘブル11:1)。信じれば私たちの望んでいることは保証されるのです。これは宗教ではありません。私たちが神さまを信じることで神さまは私たちの道を開くことができるのです。だから今日からは、神さまに私たちの内側にある問題を神さまにすべて訴えて告白して、悪かったことは「ごめんなさい」して、そして私はダビデのように神さまとともに生きると宣言しましょう！そうすれば絶対に信じたとおりにできます！！(要約者：行司佳世)